

【令和6年度診療報酬改定対応研修】

看護補助者の更なる活用のための

院内研修 e ラーニング



看護補助者向け

研修の流れ 講義 → 講義確認テスト → 修了

研修プログラム

看護補助者向け 研修プログラム	所要時間	講義 7 時間 30 分（日常生活にかかわる業務マニュアルフォーマット付き）
	講師	関西医療看護大学看護学部教授 箕浦洋子氏
	講義 e ラーニング	医療制度の概要及び病院の機能と組織の理解
		医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助業務の理解
		看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術
		日常生活にかかわる業務
		守秘義務、個人情報の保護
		看護補助業務における医療安全と感染防止 等

講義

本研修は全部で 30 単位の講義となっており、1 つの講義の所要時間が平均約 15 分（最長 31 分）で空いた時間に視聴することができます。

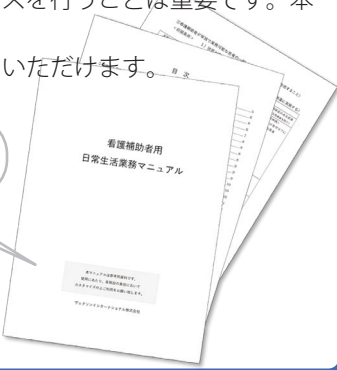
本研修は、医療提供現場において看護補助者が担う役割について、知識・技術、業務ごとに丁寧に解説しています。療養環境を整え、看護ケア等を行う際の医療の質の担保は医療提供現場において重要となるため、その理論について理解を深める必要があります。チームとして医療を提供していく中で、医療の効率化と質確保のために、看護師と協働しながら看護サービスを行うことは重要です。本研修において、チーム医療の一員である看護補助者の役割とその理論について理解していきます。また、本研修は業務マニュアルフォーマット付きになりますので、施設ごとにカスタマイズしてご利用いただけます。



安全な援助を行うため、看護補助者は看護職員が判断した内容を確認し実施する

日常生活にかかわる業務マニュアルフォーマット付き

エ 日常生活にかかわる業務 - 全身清拭、寝衣交換
関西看護医療大学看護学部 教授
箕浦 洋子 氏



講義確認テスト

講義時間の 9 割を受講しないとテストを受けられない仕組み

すべての講義に対して、選択肢形式のテストが出題されます。講義の理解度をチェックするための形成的評価としてご利用ください。講義時間の 9 割を視聴しないとテストを受講できない仕組みです。解答後、テストの結果と解説が表示されるので、復習にもご利用ください。

講義確認テスト

看護補助者向け研修

医療制度の概要及び病院の機能と組織の理解 - 医療制度の理解

2 / 3

制限時間 10 分

残り 8 分

全 3 問 / 3 点満点

1 2 3

みんなの成績

平均 2.2 点

講義のページに戻る

メッセージ

Q1. 高齢化に伴う医療構造の変化について、誤っているものを1つ選べ。

1. 高齢者が増えることで、入院を繰り返しながら状態を悪化させていくケースが増える

2. 高齢化が進み、入院を繰り返し退院する患者さんが、今以上に増加する

3. 高齢者が増加し、回復の過程が複雑化することで、医療と介護は、ますます無関係になっていく

解答：3

解説

これから高齢化に伴い、疾病回復過程は複雑化していくことが予測されます。高齢者は、入院を繰り返すことにより、状態が悪化していく状態になります。したがって、医療・介護がそれぞれ独立するものではなく、医療と介護は重なり合い、より連携した「繋がるケア」が求められています。

看護職員向け

研修の流れ 講義 → 講義確認テスト → 演習 → 修了

研修プログラム

看護職員向け 研修プログラム	所要時間	講義 40 分＋演習 20 分（演習の手引付き）
	講師	関西医療看護大学看護学部教授 箕浦洋子氏
	講義 e ラーニング	看護補助者との協働の必要性
		看護補助者の制度的な位置づけ
		看護補助者と協働する看護業務の基本的な考え方
		看護補助者との協働のためのコミュニケーション
	演習	自施設における看護補助者に係る規定及び運用

講義

講義は 2 つある講義のいずれかを選択して受講していただきます。いずれの講義も「看護職員と看護補助者の協働」について解説されており、看護補助者との協働の必要性について検討されています。各論では看護師と看護補助者の協働に関する基本的な考え方やその実際を明らかにしていきます。協働における看護師の責任や看護補助者の責任・役割、指示に関する規定、業務標準化について考察し、実際の連携において情報共有や指示出し・報告、直接ケアでの協働の様子について動画を通じて分析していきます。講義を通じて、看護師と看護補助者の協働の重要性とその実践方法について理解を深めることができます。



看護補助者は看護師とともに、患者の日常生活に関わる業務を実施することができる

看護職員と看護補助者の協働
関西看護医療大学看護学部 教授
箕浦 洋子 氏

講義確認テスト

講義時間の 9 割を受講しないとテストを受けられない仕組み

すべての講義に対して、選択肢形式のテストが出題されます。講義の理解度をチェックするための形成的評価としてご利用ください。講義時間の 9 割を視聴しないとテストを受講できない仕組みです。解答後、テストの結果と解説が表示されるので、復習にもご利用ください。

講義確認テスト

看護職員向け研修

【選択式】【B】看護職員と看護補助者の協働

現在1問目 / 2問目

制限時間 10 分

残り 9 分

全 2 問 / 2 点満点

1 2

みんなの成績

平均 1.24 点

講義のページに戻る

次の質問

Q1. 看護チーム内の役割や責任に関して、正しいものを1つ選べ。

1. 看護補助者は専門的判断を行うことができないため、看護師から受けた指示に疑問を持つ必要はなく、業務マニュアル通りに実施することが求められる

2. 看護師が看護補助者へ「単独の直接ケア」を指示する場合、そのケアは専門的判断を必要としないことが前提であり、看護師はその指示に対して責任を負わなければならない

3. 看護師が看護補助者に指示を出す場合、患者の病態や全身状態を考慮することが重要であり、看護補助者の特性に左右されるべきではない

解答：2

解説

看護師から指示された業務に不明な点がある場合、看護補助者は業務内容の詳細や実施手順を看護師に確認した上で、依頼内容を実施する責任がある。

看護師が看護補助者へ指示を出す場合、指示を受ける看護補助者の能力、研修受講状況等を考慮し、その看護補助者の能力の範囲内で実施できる業務であるかどうかを判断した上で、実施する責任がある。

看護補助者へ「単独の直接ケア」を指示する場合、看護師は専門的判断を必要としないケアであることを判断する必要があり、指示を出した看護師にはその指示に対して責任を負うことになります。

演習

講義「看護職員と看護補助者の協働」の動画を視聴し看護者の役割と責任について、看護補助者への指示の実際など、看護職員の対応をディスカッションしていきます。その結果、協働における看護師の責任ある役割について考えることができることを学習の目標としています。



看護職と看護補助者の連携
関西看護医療大学看護学部 教授
箕浦 洋子 氏

本研修は演習の手引き付きとなります。

